



南中学校だより

令和 7 年 9 月 1 日 (月)
東松山市立南中学校 長
栗田 秀人

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

第 6 号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

2 学期スタート 言葉に頓着 (とんちゃく) してみよう!

酷暑の夏休みでした。そんな中、7 月下旬から 8 月頭にかけては、学校総合体育大会で勝ち進んだ部の県大会が県内各地で行われました。吹奏楽部のコンクールも含め、都合のつく限り各部の応援に行ったのですが、どの部も南中を代表するだけでなく、東松山市・比企郡を代表した素晴らしい取り組みがみられました。3 年生は部活動の集大成として臨んだ大会で、それぞれに悔しさを感じたとは思いますが、中学校生活の大切な 1 ページになったことと思います。

部活動は、ほとんどの部で、夏季休業中に代替わりとなったはずですが、2 年生中心に、新たな体制で部の運営が始まっていると思います。2 年生の皆さんには、部活動に限らず、学習面でも、他の生活の場面でも、自分たちが南中学校を支えていく存在であることを自覚して過ごしてもらいたいと考えます。1 年生は 2 年生をしっかりと追いかけて、南中での生活をより充実したものにしてください。3 年生、君たちはいよいよ受験一本の生活に突入します。既に夏休み中から、気持ちを受験モードに切り替えられている人もいることでしょう。君たちの人生はまだまだ続いていきます。その中の僅か 5～6 か月、勉強だけに取り組む期間があってもよいでしょう。「光陰矢の如し」と言いますが、時間は「あっ」という間に過ぎていきます。後悔しないように目標の達成に向けて、地道に取り組ましましょう。さて、今日からの 2 学期、学校として取り組む行事で最も大きいものは「合唱祭」でしょうか。今年は空調工事の関係から東松山文化センター大ホールで合唱祭を行います。毎年、この合唱祭に向けて素晴らしい取り組みがみられます。学級の団結力の見せ所です。昨年、私はこの合唱祭に向けた取り組みをよく見て、聞かせてもらいました。徐々に作品として仕上がってくるのが分かります。同時に、各学級の気持ちが充実していく様子が伝わってきます。今年も、そんな様子が学校のあちらこちらから伝わってくることを期待します。

合唱祭以外にも新人戦、1 年生の校外学習、2 年生は修学旅行に向けての準備が始まるでしょう。そして、あなた方は中学生ですから、勉強して知識や技能を身に付けることも大きな仕事です。南中生一人一人にとって、2 学期が充実した日々になることを祈っています。

ところで、2 学期はじめにあたり、南中生の皆さんに 1 つだけお願いをします。それは、「言葉に頓着してみよう!」ということです。私は今年、本を読むことを皆さんに進めています。夏休み前も課題として読書を出しました。本を読むとたくさんの言葉に出会えます。以前、私が今年読んだ本として紹介した、三浦しをんさんが書いた『舟を編む』という小説、この本では言葉がとても大切に扱われている、ということを紹介しました。実はこの休み中、『舟を編む』がドラマ化されました。見た人もいないのではないのでしょうか?俳優の池田エライザさんが主演で、NHK で放送されました。簡単にあらすじを説明します。主人公は、大人気のファッション誌の編集部員だった「岸辺みどり」、池田エライザさんが扮します。彼女の担当していたファッション雑誌の廃刊が決まり、突如異動になった先は辞書編集部でした。そこは、ぼさぼさ頭で超がつくほどの生真面目な上司「馬締光也」を筆頭に、個性が強く変わった人ばかり。ちなみに、この「馬締」さんは RADWIMPS の野田洋次郎さんが演じていました。「主人公のみどりは、彼らに翻弄されながらも、一冊の辞書を作るために十数年間に及ぶ時間と手間をかける根気と熱意に触発され、次第に自らも言葉の魅力を発見、辞書編さんの仕事にのめり込んでいきます。『大渡海』という名前の辞書を完成させるまでの、辞書編集部員たちの奮闘物語です。」(NHKHP より)

このドラマでは、設定が辞書編纂ということもあり、辞書に取り上げる一つ一つの「言葉」の意味に、大変なこだわりをもって描かれています。例えば、「なんて」という言葉があります。実はこの「なんて」は主人公のみどりの口癖で、彼女は無意識に使っていました。ある日、恋人がみどりのための朝食を準備してくれます。その時にみどりは、「ああ、ごめん。ご飯食べてる時間なんて、ないかも」と返してしまいます。この恋人、実はなかなか芽の出ないカメラマンという設定ですが、朝日を撮ることに「こだわり」を持っています。その彼が一念発起し、こだわりのある朝日の写真を撮ってコンテストに出品するという決意をみどりに向かって述べた時、みどりは、「また朝日……綺麗だけどこさ…ごめん、て言うか……ありふれているって言うか……。結構みんな撮ってんじゃない、朝日なんてさ」と返してしまいます。みどりも恋人の将来を一生懸命考えて発言しているのですが、選んだ言葉が「なんて」でした。この時の「なんて」は、恋人にどのように受け止められたのでしょうか。「なんて」を辞書で引くと、みどりのように「なんて」を使った時は「軽視する、無視する」という意味になります。みどりと付き合っている恋人は、この言葉をきっかけにみどりの下を去っていきます。また、この出来事にわだかまりを持っていたみどりは、辞書編集の仕事に就くようになって、自分自身が言葉選びにあまりにも無頓着であったことに気が付きます。みどりは、劇中でも本来は優しい人という位置づけであり、決して強引なところがある人という設定ではないのですが、辞書編集に携わるうち、言葉に無頓着であったことが、人の気持ちを思いやらないことにつながっていた、恋人の心を傷つけていたということを徐々に理解していきます。そしてある時、馬締さんが、みどりの発した言葉に対し「なんて素敵な表現でしょう!」と表現するのです。この「なんて」は感嘆の意味の使い方です。同じ言葉でも、使い方・選び方によって全く違います。この出来事をきっかけに、みどりは辞書作りに大きな意味を見出していきます。

この「なんて」は一例であり、原作本の中にも、ドラマの中にもたくさんの言葉が出てきます。例えば、「泣く」という動作一つにも、「嘆息 (たんそく)」「涕泣 (ていきゅう)」「嗚咽 (おえつ)」「慟哭 (どうこく)」と「泣き方の順番」があることが示されます。それぞれの意味する「泣く」様子は是非調べてみてください。因みに『舟を編む』の「編む」には、①糸や竹などを組み合わせる意味と、②文章、歌などを集めてまとめる という意味があります。そして、このドラマを貫くテーマはホームページ上で「言葉は誰かを傷つけるためではなく、誰かを守り、誰かをつなげるためにある」と示されています。機会があれば原作本やドラマに目を通してみてください。

この夏休み、読書に親しんでくれた人は、本からたくさんの言葉と出会ったことと思います。2 学期の始まりにあたり、出会った言葉を生かしつつ、話す言葉も、書く言葉も、人と人がより良い関係になれるような、そんな温かい言葉選びができるよう、少しでも気を使ってみてください。言葉に頓着し過ぎてみましょう。

※ 頓着する (とんちゃくする)・・・ 深く心にかけたり、気にしたり、こだわること

女子卓球部 ○○さん 関東大会出場！

(8月10日(日))
：所沢市民体育館)

2年生の○○さんが卓球個人戦で関東大会に出場しました。昨年に引き続き、2年連続出場の快挙です。当然ですが、大変レベルの高い大会で、大熱戦を繰り広げていました。3年生の女子卓球部員、また男子卓球部の部員の12年生、男女の卓球部顧問4名も応援に駆けつけてくれました。○○さん自身もちろんですが、応援してくれた卓球部員たちにとっても、レベルの高さと言い、会場の雰囲気と言い、大変刺激になったことと思います。貴重な経験を自分事として生かしてほしいと思います。



学校総合体育大会（県大会）結果

(7月12日(土)～8月1日(金))：県内各競技場)

野球部・・・7月12日(土)1回戦 ●1-4
サッカー部・・・7月22日(火)2回戦 ○2-0
7月25日(金)3回戦 ●0-4
ソフトボール部・・・7月19日(土)1回戦 ○3-2
(小川中との合同) 7月22日(火)2回戦 ●5-9
バレーボール部・・・7月22日(火)1回戦 ○2-1
2回戦 ●0-2
男子ソフトテニス部 団体・・・7月26日(土) 1回戦 ○2-1 2回戦 ●1-2
個人・・・7月19日(土) ペア 1回戦 ○0-3
2回戦○3-2 3回戦 ●1-3
男子卓球部 団体・・・7月22日(火) 1回戦 ○4-1
2回戦 ●1-4
個人・・・7月28日(月) 2回戦 ●2-3
女子卓球部 団体・・・7月23日(水) 1回戦 ○4-1 ●2-3
個人・・・7月28日(月) 2回戦 ○3-1 3回戦 3-0○ 4回戦 ●2-3
剣道部(男) 団体・・・7月31日(木) 1回戦 ○1-0 2回戦 ○2-1
3回戦 ●0-2
個人・・・ 1回戦●0-2 1回戦●0-1
2回戦○2-0 3回戦●0-2
1回戦○1-0 2回戦○1-0 3回戦●1-2
剣道部(女) 団体・・・7月31日(木) 1回戦 ○4-1 2回戦 ○1-0
3回戦 ●1-3
個人・・・ 2回戦●1-2
陸上部・・・7月19日(土)・20日(日)
男子1年100m 2年100m 走幅跳 砲丸投
女子1年100m 2年100m 3年100m
200m 800m 100mH 走高跳
1500m 7位入賞



第66回 埼玉県吹奏楽コンクール

(8月2日(土))：所沢市民文化センター ミューズ)

3年生中心の活動として集大成となるコンクールでした。所沢市民文化センター ミューズのコンサートホールという、吹奏楽部の集大成としての演奏を披露するのにこの上ない会場で、先生の指揮の下、ホールに負けない大変堂々とした演奏が披露されました。吹奏楽部と言えば、市内の各イベントに出演する機会が多く、その時は観客に分かりやすい曲を選んでくれています。一方で、このコンクールは「空に続く足跡(日景貴文作)」という曲を披露しました。この曲は「吹奏楽」のために創られた、大変深みのある曲でした。あくまでも私の私見ですが、吹奏楽部の面々は曲調をよくとらえて、気持ちを込めて演奏できていました。結果、金賞受賞！ 集大成にふさわしい結果となりました。

先生と吹奏楽部の魅力について話す機会がありました。「吹奏楽部の特徴は、運動部のように競い合いではない。それぞれの人が担当する楽器を練習して作り上げ、そのうえでそれぞれの力を一つに合わせて一つの作品を作り上げる。それぞれが役割を担っており、誰が欠けても成立しない。それが吹奏楽の楽しさです！」まさにその通りの演奏を聞かせてもらいました。



2学期より

宜しくお願いします。

9・10月の主な予定 (変更になる場合があります。)			
9	1	月	2学期始業式
	2	火	短縮3時間
	3	水	給食開始
	4	木	芸術week開始 (～12日)
	10	水	比企新人戦 (陸上)
	15	月	祝・敬老の日
	23	火	祝・秋分の日
	24	水	8組校外学習 比企新人戦 (武・球 ～27日)
	30	火	開校記念日 比企地区学力テスト (3年)
10	6	月	中間テスト
	7	火	中間テスト 避難訓練 (4校時)
	8	水	生徒会本部引継ぎ式
	13	月	祝：スポーツの日
	16	木	比企駅伝競走大会
	24	金	合唱祭 (於：東松山文化センター)
	28	火	3年生三者面談 (～11月7日 (金) まで)